

「夢と希望の式下中学校」

川西町・三宅町式下中学校組合立式下中学校

# 夢たより

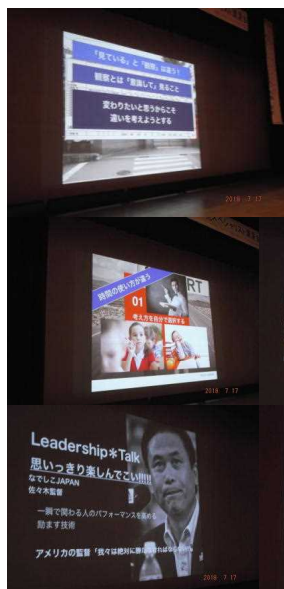
7月号 平成30年7月20日(金) 文責 木寅 雅史

## 7月17日「第4回夢現スペシャリスト講演会」開催！！



今年の夢現スペシャリスト講演会は、グローバルキャリア代表取締役の的場亮さんをお招きして実施しました。的場さんの講演は、映像が随所に入り、熱意がひしひし伝わってくる感じがしました。参加者の心が震え、夢や希望に向かうエネルギーを伝えていただいた内容でした。思わず目頭が熱くなる場面もありました。

講演の内容は、大学中退で学歴が高卒にもかかわらず、関西屈指の専任講師に就任、3年間で生徒からのアンケート支持率でトップになり、やめるまでトップを常に維持。「夢をかなえるコツ」が講演の主軸でした。その内容について、画面を追って紹介すると・・・



2枚の絵から、5つの違い探しにチャレンジ。「見ている」と観察とは違う。変わりたいと思うからこそ、違いを考えようとする。考え方を自分で追求する。塾の専任講師になったとき、児童と同じ視点で第一人者の先生の授業を受け、自分との違いを徹底的に追求した。

一流の先生は、「時間の使い方が違う」「自分の人生に責任を持つ」「結果を出す力(発揮能力)に優れている」などの特徴がある。

なでしこジャパンの佐々木監督は、「思いっきり楽しんでこい」と世界一を競うその瞬間に選手たちに言葉をかけた。

Performance = 心 ( ) × 技 ( ) × 体 ( )

アメリカ選手たちの緊張・不安・恐れに対して、日本選手たちのパフォーマンスが世界一をつかみとる。感情→行動→結果。行動を意識して、楽しむ感情に切り替える。

姿勢を変える。姿勢とは、姿に勢いがあること。

将来、君たちが面接に立ち会う時、その姿勢を面接官は読み取るだろう。着座のその瞬間の姿勢で、50%面接の結果が決まってしまうとも言っている。



困難→簡単にするには、やはり一点集中しかないのです。何か一つを見つけて技を磨いてください。反復練習で、繰り返して「技」として体得していくことが大切です。

最後に「ありがとう！」を忘れないこと。身近な人への感謝を忘れないこと。母の作る「弁当」のVTRと暗闇に映し出されたテロップで、その紹介がありました。(参加者からの声)

・今回の講演会での場さんの歩んできた人生と併せて話をいただいて、少しでも息子に何か伝わったと思います。夢現スペシャリスト講演会は、将来の日本の子供たちのためにも続けてください。

・子供たちの心に入って話がするのがとてもうまく、子供たちも聞きやすかったのではないかと感じた。

・親として、子として、両方の立場から講演を聴きました。一番後ろから講演を聴いていましたが、私はもちろん、涙している中学生の皆さんを見て、沢山のことを心にとめられたのだろうと感心いたしました。ありがとうございました。

・受験へ向けて頑張っている子供への接し方、子供へ伝えたいことや向き合い方などを学ばせていただきました。

・子供を信じ続ける・・・というのは、今の私には難しく、つい「そんなんでできるか〜?」とか「無理やろ」とか、否定的なことを言ってしまいます。それが良くないことと分かっていつつ、自分の中にむらがあり、「大丈夫」と思える日と、思えない日があります。それでも、やはり、信じてやらなくちゃと改めて思われる講演でした。本人に聞かせられなかったのが、非常に残念です。

・「当たり前のことを当たり前だと思わない」「感謝」。親になって、改めて親のありがたさを実感しました。学生時代(勉強はまじめにしておりましたが・・・)の自分に聞いてほしい話でした。親からもらった愛情をかわいい3人の子どもたちへ・・・。

「大丈夫、あなたは素晴らしいんだから」この気持ちをしっかり伝え、一番の応援団になりたいです。すてきなお話をありがとうございました。

・元気でいてくれる娘たち、必死で働いてくれる夫、「感謝を忘れなければ、あなたは幸せな人生を送れる」といつてくれた母のこと・・・改めて、大切なことを大切にするという意味を考えさせられました。ありがとうございました。

また、学力向上はテストの結果(点数)と考えてはいないだろうか。学力向上とは、学ぶ姿勢を「学ぶ」ことである。皆さんが、今簡単にできていること、たとえば自転車に乗ることはどのようにできるようになりましたか?それは、一点集中です。一点集中の反復練習です。

